

## NPO法人 設立 総 会

12月5日、別府市のニューライフプラザで大分県景観自然室穴井輔嘉室長、同吉田ミユキ参与とセントレジャー城島の大野正憲経営企画課副部長を来賓として迎え、NPO法人設立総会を開催しました。当日は入会届を出された会員35名のうち28名(うち委任状9)が出席し、定款の審議や今後の活動や予算等について協議し、法人役員を下記の通り選任しました。

理事長： 川野 弘人

副理事長：生野喜和人

理事： 小田 毅

監事： 熊瀬良治・渡辺政治



観察道整備をする会員

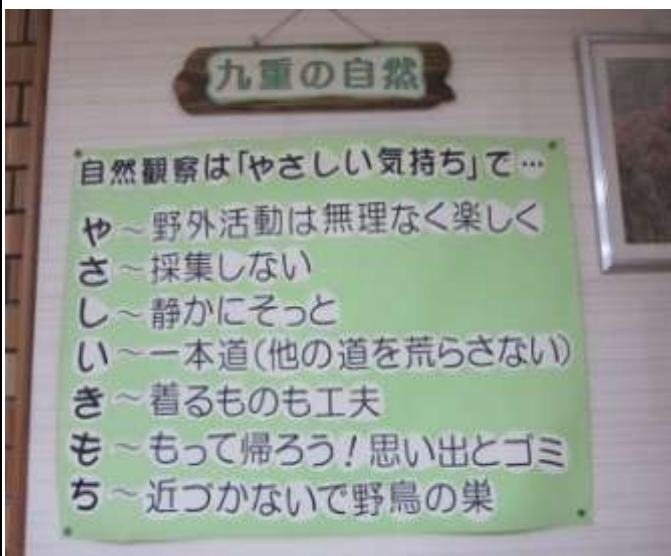
また、組織内担当係として、渉外に児玉清一郎、会計に渡辺新十郎、井上千鳥、事業に波多野英哲、工藤剛の5氏にお願いしました。この会議の議事録等を整理して書類を整え、認可の申請をすることになります。

この日は、総会の後、坊ガツルの野焼きのビデオを見ながら坊ガツル野焼き実行委員会の弘蔵岳久代表から「野焼きの現状と問題点について」と題して記念講演をいただきました。坊ガツル湿原の取り組みを例に、事故防止対策や協力体制の作りかた、資金の工面など、これからの私たちの湿原保全活動に大変参考になるお話でした。

NPO法人については、これから法務局での認可手続きを経て、公示されることになります。

23年度は正式に特定非営利活動(NPO)法人として歩み出すことになるでしょう。

## 研修活動 自然観察指導員資格取得



11月5・6・7日の3日間、日本自然保護協会の自然観察指導員研修会が県立九重青少年の家で開催されました。本会から、井上千鳥、定松亨、渡辺新十郎の3氏が受講し新しく指導員資格を取得されました。

また、今回の受講された安藤俊二、岩尾健、高倉敏充、高橋東洋雄、中条康子の5氏が新しく会員となりました。

研修会は中央からの講師の講義、地元指導員の実技指導、情報交換など密度の濃いものでした。

この資格は指導者として技量を高め、今後、保全の会の活動を展開していく上で、自然体験や観察会など

で大いに役立つと思われます。これからの活躍を期待します。

